

まふとち通信

(まふ (MAFF)) は、農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です)

本誌のご案内



- 宇都宮大学農学部「アグリカレッジ」開催
- 【BUZZ MAFF】「かんとうきっちゃん」動画発信中！
- 統計情報 令和5年市町村別農業産出額
～ 全国上位100市町村に栃木県から3市町がランクイン ～
- 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」募集開始！
- お米の生産意向に関するアンケート調査にご協力をお願いします

宇都宮大学農学部「アグリカレッジ」開催

関東農政局栃木県拠点では、農業関係高校と連携した担い手育成の一環として、農業関係高校の特色ある取組を紹介しています。

宇都宮大学が平成16年度から取り組んでいるアグリカレッジは、栃木県内の農業高校(7校)の生徒を対象に、就学意欲を高め、21世紀の農業の担い手や地域リーダーを育てることを目的に、大学の先進的な研究内容等を学んでもらう高大連携の取組です。

土曜日や高校生の夏休みを利用して全9～11回(36時間以上)の講義があり、修了者には農学部から「修了認定証」が交付され、農業学校では1単位として認定されています。

今年度は全9講義が実施されました。

取材を行った6月14日の第5回講義「私たちの暮らしと森林とのかかわり」は、塩谷町にある宇都宮大学農学部附属演習林において開催されました。

当日は、あいにくの雨模様でしたが、受講者の高校2年生33名は、大島潤一准教授から、演習林内の案内を受け、カタクリ群生地や「ナラ枯れ」の病原菌であるナラ菌を媒介する「カシノナガキクイムシ」防除の様子、少花粉スギの育成試験地などを見学しました。

座学講義では、国内の「ナラ枯れ」発生地への推移、発生の仕組み、防除方法や、我々の暮らしにおける森林の役割などの説明を受けました。

受講した生徒からは、「大学農学部への進学を希望しています。アグリカレッジについては、大学ならではの先進的な研究内容に触れられる機会であると思い受講しました。今日、学んだ事を高校での授業にも生かしたいと思います」などの感想がありました。



座学による講義



カタクリ群生地での講義

実施日	講義回	実施内容
		開講式
5月17日(土)	第1回	未来の農業は何が主役？ (有機農業・スマート農業・植物工場)
5月31日(土)	第2回	乳肉卵の生産
	第3回	植物の生長を制御する植物ホルモン
6月14日(土)	第4回	木材の化学成分とリグニンの呈色反応
	第5回	私たちの暮らしと森林とのかかわり
6月21日(土)	第6回	ウシの生産とルーメン微生物
	第7回	ウシの命、人の命
7月19日(土)	第8回	食物アレルギーを探してみよう
	第9回	新基本法と日本農業の課題
		閉講式

令和7年度アグリカレッジ」開催日程

BUZZ MAFF(ばずまふ) とは・・・

農林水産大臣を名誉編集長として、農林水産省職員自らが、省公式YouTubeチャンネルでYouTuberとなるなど、担当業務にとらわれず、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクトで、全国各地の職員25チームが発信しています。

4月から栃木県拠点で勤務する職員も、管内の食の魅力発信に張り切っています。

今回は「かんとぅきっちゃん」が発信している動画の一部をご紹介します。

新作動画も続々発信予定です。ご期待ください。

「かんとぅきっちゃん」の福本です。
国産食材をおいしく食べて、毎日元気に過ごしましょう！



宇都宮といえば「餃子」。
栃木県といえば赤い「アレ」。
栃木名物のニューカマー出現。



オシャレが不足しがちな貴方へ。
オシャレTKGで魅力と栄養同時補給。



ゲーム内で収穫した食材だけで料理を作る限定ミッション。リアルでは同僚から食材調達。果たして何が出来るのか。私の机には栃の実があります。



「かんとぅきっちゃん」の配信は下記URL、二次元コードからご覧ください。

https://www.maff.go.jp/kanto/kikaku/buzz_maff/kanto_kitchen.htm

↓ YOUTUBE チャンネルはこちらから。

<https://www.youtube.com/BUZZMAFF>



【全国上位及び県内順位】

市町村別農業産出額の全国上位100市町村を見ると、那須塩原市が10位（前年12位）、大田原市が40位（前年40位）、那須町が75位（前年66位）となっており、栃木県内の3市町がランクインしています。

上位3市町の特徴は、畜産の盛んな県北地域に集中している共通点があります。

なお、県内25市町での順位は、6市町で順位変動（うち、3市町で順位上昇）がりましたが、19市町に変動はありませんでした。

【各市町の1位部門】

農業産出額1位部門を見ると、県内25市町のうち、約半数の12市町で「野菜（栃木県が全国1位の「いちご」含む）」が1位。

また、那須塩原市（県内1位）の「乳用牛」は、北海道別海町に次ぐ全国2位、那須町（県内3位）の「豚」は、全国12位にランクインしています。

図 農業産出額1位部門の分布

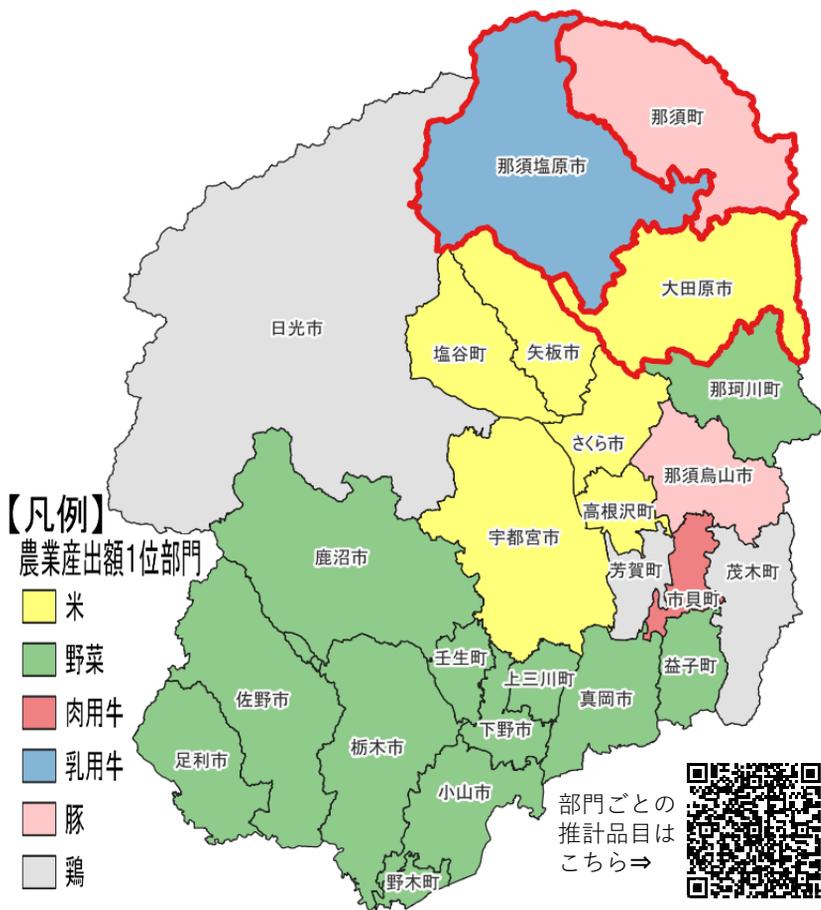


表 各市町の順位

単位：億円

令和5年順位		市町	農業産出額	1位部門
全国（変動）	県内（変動）			
10（↑）	1（→）	那須塩原市	504.0	乳用牛
40（→）	2（→）	大田原市	289.9	米
75（↓）	3（→）	那須町	224.2	豚
102（→）	4（→）	栃木市	189.1	野菜
113（↓）	5（→）	真岡市	180.2	野菜
114（↑）	6（→）	宇都宮市	179.6	米
202（↓）	7（⑧↑）	鹿沼市	126.4	野菜
209（↓）	8（⑦↓）	那須烏山市	122.3	豚
227（↓）	9（→）	小山市	116.6	野菜
244（↓）	10（→）	下野市	112.6	野菜
252（↑）	11（→）	日光市	110.9	鶏
279（↑）	12（→）	さくら市	103.8	米
307（↑）	13（⑭↑）	茂木町	95.7	鶏
333（↑）	14（⑬↓）	芳賀町	90.3	鶏
466（↑）	15（→）	高根沢町	63.0	米
499（→）	16（→）	壬生町	58.1	野菜
515（↓）	17（→）	上三川町	55.0	野菜
566（↑）	18（→）	矢板市	48.6	米
591（↑）	19（⑳↑）	市貝町	46.3	肉用牛
598（↑）	20（⑲↓）	佐野市	45.6	野菜
636（↓）	21（→）	那珂川町	42.4	野菜
668（↑）	22（→）	足利市	39.6	野菜
691（↑）	23（→）	塩谷町	37.8	米
788（↑）	24（→）	益子町	31.1	野菜
1060（↑）	25（→）	野木町	15.9	野菜

注：本統計は、農林業センサス及び作物統計を用いて、都道府県別の農業産出額を按分しているため、市町村毎の価格や単収の差は反映されていない。

詳しくは、以下のURL又は二次元コードからご覧ください。

市町村別農業産出額（推計）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sityoson_sansyutu/index.html#y



上記URL先の画面

MAFF統計ダッシュボード

詳細品目別データ

《全国の色分け地図》
 年次、地域、都道府県
 を選択してご覧ください。

《詳細品目別データ》

各年次の部門別・詳細品目別の市町村別
 農業産出額（推計）（単位：1,000万円）、
 全国・都道府県内順位一覧をご覧ください。

◇ 令和5年 市町村別農業産出額（推計） 詳細品目別データ(EXCEL:5,933KB)



◇ 平成29年 市町村別農業産出額（推計） 詳細品目別データ(EXCEL:6,218KB)

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」募集開始！ ～地域の活性化や所得向上につながる農山漁村の取組事例を募集します！～

農林水産省は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」（第12回選定）と称して、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる事例を令和7年8月12日（火曜日）まで募集します。

これまでの栃木県の選定団体（地方版を除く）

選定	団体
第2回	芳那の水晶湖ふれあいの郷協議会（市貝町）
第5回	有限会社ココ・ファーム・ワイナリー（足利市）
第5回	株式会社もてぎプラザ（茂木町）
第8回	株式会社ワカヤマファーム（宇都宮市）
第8回	株式会社いちごの里ファーム（小山市）
第9回	稲作本店（那須町）



【応募ページ】 <https://www.discovermuranotakara.com/sentei/>

お米の生産者の皆様へ 今後の米の生産意向に関するアンケート調査にご協力をお願いします

農林水産省では、今後の米政策を検討するに当たり、全ての米生産者の皆様を対象に、今後（来年、5年後、10年後）の米の生産意向に関するアンケート調査を行います。我が国の今後の米生産のあり方を考えていくためには、米生産者の皆様の声が不可欠と考えています。一人でも多くの皆様のご協力をお願い申し上げます。

（調査期間）

令和7年6月19日（木曜日）から令和7年7月31日（木曜日）まで

（アンケートURL） <https://forms.office.com/r/8mhBjG9n0i>



情報コーナー

（1）【お米に関する情報】 米に関するマンスリーレポート📄

農林水産省は、米に関する価格動向や需給動向に関するデータを集約・整理した「米に関するマンスリーレポート」を公表しています。ぜひご活用ください。

◆詳しくは、こちらをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>



（2）【補助事業参加者の公募】

農林水産省が参加者を募集している補助事業等を紹介します。

◆詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/index.html#no>



（3）【輸出に取り組む皆様へ】 お役立ち資料集

関東農政局では農林水産物・食品の輸出拡大に向けて、関係資料等を作成しました。特にこれから輸出の初めの一步を踏み出す農業者及び食品製造事業者の皆様の参考となるようまとめましたので是非、ご活用いただければと思います。

◆詳しくは、こちらをご覧ください。



https://www.maff.go.jp/kanto/keiei/zygyo/yusyutu_sokushin/kanto_gfp_export_doc.html

お問合せ先：農林水産省関東農政局栃木県拠点（栃木支局）地方参事官室

〒320-0806 栃木県宇都宮市中央2-1-16

TEL：028-633-3311（代表） Mail：tochigi_sanjikansitu@maff.go.jp

ホームページ：<http://www.maff.go.jp/kanto/chiikinet/tochigi/index.htm>

